

# 令和8年度 学校経営方針

## 校 訓

「明朗」

「自立」

「希望」

## 学校教育目標

児童生徒の命と人権を尊重し、一人一人の教育的ニーズや発達段階等に応じた個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進することにより、日々の生活の中で「生きる喜び」「自己効力感」を感じさせながら、生涯を通じて社会とかわり、豊かに生活するために必要な「生きる力」を育む。

### めざす学校像

- 児童生徒の命の尊さや人権を尊重し、一人一人を大切に作る学校
- 児童生徒が安心して明るく生き生きと学べる学校
- 地域の特別支援教育の核となる学校

### めざす児童生徒像

- 心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒
- 思いやりの心もち、心豊かに生活する児童生徒
- 夢や願いに向けて挑戦し、社会に貢献する児童生徒

### めざす教職員像

- 児童生徒の心情を理解し、児童生徒と共に歩む教職員
- 肢体不自由教育、重複障害教育の専門性を追求する教職員
- 保護者や地域から信頼される教職員

## 学校経営目標

- ① 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応える個別最適な学びの充実と発達段階等に応じた学びやすく分かりやすい授業実践に努める。
- ② 社会に開かれた教育課程を目指し、児童生徒の実態に即した教育課程の編成に努めるとともに、小・中・高の一貫した教育の推進と学習保障を図る。
- ③ 幼保等・小・中・高等学校や医療・福祉・企業等関係機関との連携を図り、卒業後の豊かな生活につながる指導の充実を努める。
- ④ 児童生徒が明るく生き生きと学べる教育活動の創意工夫を図るとともに、安全・安心に活動できる危機管理態勢や医療的ケア等の整備・充実を努める。
- ⑤ 地域における特別支援教育のセンターとしての機能を積極的に発揮するとともに、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
- ⑥ 保護者や地域の信頼に応える事務運営を図り、教育環境の改善への取組を推進する。
- ⑦ 全教職員は、研修に励み、専門性の向上を図りながら、融和協力して教育目標の達成に努めるとともに、働きやすく明るい職場づくりを推進する。

## 本年度の努力目標

- ア 主体的・対話的・深い学びに向かう授業実践と授業改善、効果的なチーム・ティーチングの推進
- イ 児童生徒の実態に即し、小中高一貫した教育課程の組織的・計画的な編成
- ウ 校務支援システムの円滑な運用と教材のデータベースの利活用の推進
- エ ICT 機器や生成 AI による校務の効率化と情報モラル教育の充実
- オ 医療的ケアの充実と、アレルギー対応・学校給食・舎食等の安全・安心な実施
- カ 教育活動中の事故「0」を目指した指導・支援の充実
- キ 感染症予防対策の徹底と非常事態を想定した危機管理の推進
- ク いじめ・体罰・不適切な言動「0」の人権を尊重した教育の徹底
- ケ 進路実現に向けたキャリア教育・職業教育の充実（キャリアパスポートの効果的な活用）
- コ ICT 機器を活用して就労するために必要となる指導内容や指導方法の充実
- サ 児童生徒が主体的に取り組む各種行事や児童生徒会・舎生会活動の推進
- シ 一人一人の実態に即した訪問教育の充実と家庭・施設との連絡・連携体制の強化
- ス 生涯学習や余暇活動、障害者スポーツ・文化芸術活動の契機となるような教育活動の充実
- セ 施設・設備の安全管理の徹底と教育環境の改善・充実
- ソ 保護者や地域の信頼に応える教育活動の推進と P T A 活動の充実
- タ 特別支援教育のセンター的機能の充実と校内支援の推進（諫早市特別支援連携協議会当番校）
- チ 本校教育の広報・理解啓発の促進（ホームページや SNS による情報発信の充実、学校だよりの配付等）
- ツ 交流及び共同学習の推進（近隣校、居住地校、地域等との交流の充実）
- テ 専門性向上のための取組（各種研修・学習会の充実、外部専門家活用研修・特支免許取得・外部研修の受講等）
- ト 寄宿舎と学校・家庭との連絡・連携体制の強化と円滑な寄宿舎運営
- ナ 働きやすく・働きがいのある職場づくりの推進（日課表の見直しにより生まれた時間の活用等）